

事業 046	事務事業名	ディサービス事業(自立)				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等		射水市生きがい対応型ディサービスセンター運営事業実施要綱、射水市老人ディサービス事業実施要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	生きがい対応型DS・・・おおむね60歳以上の虚弱老人及びひとり暮らし老人等、要介護認定が非該当の方 老人DS・・・要介護認定が非該当の方
	意図(どのような状態に)	社会的孤立感の解消及び自立生活の支援を図り、生きがいのある生活を営ませることにより、要介護状態への進行を予防できる人を増やす。
事業内容	手段(どのような方法で)	・ひとり暮らし等で家に閉じこもりがちな高齢者に対しディサービスセンターやふれあいサロンにおいて、そのニーズ及び身体の状態に応じた日常訓練から趣味活動の各種サービスを提供する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	生きがい対応型ディサービス利用者数(実人数)	人	21	20	16	80.0	20	25	100.0
	前年度からの継続利用率(生きがい対応型ディサービス)	%	59	80	76	95.0	80	80	100.0
	老人ディサービス利用者数(実人数)	人	1	1	1	100.0	1	1	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	生きがい対応型ディサービス事業利用者数(延)	人	615	590	570	96.6	810
	老人ディサービス事業利用者数	人	1	2	1	50.0	1

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	2,044 千円	1,790 千円	12.4	800 千円
財源内訳		人件費	621 千円	612 千円	1.4	612 千円
		退職手当引当金相当額	90 千円	90 千円	0.0	90 千円
		事業コスト計	2,755 千円	2,492 千円	9.5	1,502 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	2,755 千円	2,492 千円	9.5	1,502 千円
	当該事務従事職員数	0.09 人	0.09 人	0.0	0.09 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	老人ディサービスは、対象者の範囲が狭いため、利用者数は少ないが、要介護認定において非該当の方を対象とした自立生活を支えるサービスであるため今後も継続していく必要がある。
有効性	2	生きがい対応型ディサービスは、地区を限定したサービスである。現在、類似した事業としてふれあいサロン等が全市的に活発に展開中である。
達成度	3	必要とされている方に利用されている。
効率性	4	老人ディサービスにかかる費用(単価)は、介護報酬に基づいて算出しているため、削減対象にならない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	要介護認定において非該当と認定された高齢者等、介護保険サービスを受けることができない方のための事業であるので今後も継続していく必要がある。

事業 047	事務事業名	寝具乾燥サービス事業(寝具乾燥・消毒事業)				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等		射水市寝具丸洗い乾燥事業							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	市内に居住するねたきり老人等のいる世帯及びこれに準ずる世帯であって、寝具乾燥等が困難な方							
	意図(どのような状態に)	在宅の要介護老人等に、寝具丸洗い乾燥サービスを提供することによって、自立及び生活の質の確保を図るとともに、その家族の身体的かつ精神的な負担の軽減を図る。							
事業内容	手段(どのような方法で)	年2回(3月、9月)、寝具丸洗い乾燥のサービスを実施							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用率(利用者数/申請書送付数)	%	28	30	27	90.0	30	30	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	利用者数(延)	人	221	200	208	104.0	200
	申請書送付人数	人	785	780	768	98.5	780

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	658 千円	529 千円	19.6	641 千円
	人件費	1,656 千円	952 千円	42.5	952 千円	
	退職手当引当金相当額	240 千円	140 千円	41.7	140 千円	
	事業コスト計	2,554 千円	1,621 千円	36.5	1,733 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,554 千円	1,621 千円	36.5	1,733 千円	
	当該事務従事職員数	0.24 人	0.14 人	41.7	0.14 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	在宅で介護している家族の身体的、精神的負担の軽減を図るため今後も継続する必要がある。
有効性	4	サービスが有効に活用されている。
達成度	4	必要とされている方に利用されている。
効率性	3	委託業者に見積書を徴収し最低価格業者に委託し金額を決定している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	対象者を抽出して申請書を送付しているが、今後もサービスを必要とされる方に周知できるようケアマネージャー等に普及啓発する。

事業 048	事務事業名	調髪サービス事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等		富山県要援護対策メニュー事業実施要綱、射水市寝たきり老人等訪問理容サービス事業実施要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	おおむね65歳以上の、自らが理容店等で調髪を受けることが困難な高齢者で、要介護度4、5に認定された方、寝たきりの重度身体障害者の方							
	意図 (どのような状態に)	訪問理容サービスを行うことによって、自立及び生活の質の確保を図るとともに、その家族の身体的かつ精神的な負担の軽減を図る。							
事業内容	手段 (どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理容組合より理容師が訪問し、調髪及び顔そり(パーマ・洗髪は除く)を行う。</li> <li>・民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。</li> </ul>							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用決定者に対する利用率	%	79	70	50	71.4	70	70	100.0
	新規申請者数	人	17	20	10	50.0	20	25	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	利用者数	人	34	25	21	84.0	15
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	82 千円	62 千円	24.4	102 千円
財源内訳	人件費	966 千円	612 千円	36.6	612 千円	
	退職手当引当金相当額	140 千円	90 千円	35.7	90 千円	
	事業コスト計	1,188 千円	764 千円	35.7	804 千円	
	国県支出金	81 千円	61 千円	24.7	千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,107 千円	703 千円	36.5	804 千円	
	当該事務従事職員数	0.14 人	0.09 人	35.7	0.09 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	介護している家族の身体的、精神的な負担軽減を図るために今後も継続する必要がある。
有効性	3	サービスが有効に活用されている。
達成度	3	必要とされている方に利用されている。
効率性	4	利用者の負担軽減を図ることを目的とした福祉サービスであり、コストを下げることは難しい。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	サービスを必要とされている方に周知できるよう、介護支援専門員や民生委員等に引続き普及啓発する。

事業 049	事務事業名	高齢者ミドルステイ事業 (在宅福祉対策費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		富山県高齢者ミドルステイ事業実施要綱 射水市要介護高齢者ミドルステイ事業実施要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	やむを得ない事由により中期にわたり在宅での介護が困難となった高齢者等で、介護保険法に規定する要介護認定又は要支援認定を受けた者、並びにおおむね65歳以上のひとり暮らし老人
	意図 (どのような状態に)	対象となる高齢者及び介護者が安心して生活できるようにする。
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 一時的に指定短期入所生活介護事業所等に入所する。

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	申請に対する利用率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	申請数	件	16	10	6	60.0	10
	利用数	件	16	10	6	60.0	10

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	979 千円	474 千円	51.6	1,293 千円
	人件費	1,311 千円	816 千円	37.8	816 千円	
	退職手当引当金相当額	190 千円	120 千円	36.8	120 千円	
	事業コスト計	2,480 千円	1,410 千円	43.1	2,229 千円	
財源内訳	国県支出金	489 千円	237 千円	51.5	638 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,991 千円	1,173 千円	41.1	1,591 千円	
	当該事務従事職員数	0.19 人	0.12 人	36.8	0.12 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	在宅で介護されている高齢者等が、介護者の都合で中期にわたり介護されない状態とならないようにするため、今後も継続してサービス提供していく必要がある。
有効性	4	サービスの利用により、要介護高齢者等の安心できる生活が保たれている。
達成度	3	利用対象となる申請者に対しては、決定し、利用されている。
効率性	4	事業にかかる費用(単価)は介護報酬に基づいて算出しているため、削減対象とならない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	対象となる方がサービスを利用できるよう、普及啓発する。

事業	事務事業名	軽度生活援助事業				担当部署	部名	福祉保健部	
050		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
							電話	82-1952	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度								
根拠法令・要綱等	射水市高齢者軽度生活援助事業実施要綱								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	おおむね65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者であって、日常生活の援助が必要な方						
	意図(どのような状態に)	高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態の進行を防止する。						
事業内容	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護保険のホームヘルプサービスでは対象としない日常生活の援助を行う。(家屋内の清掃、整理・整頓、家周りの手入れ、草むしり、家屋や電気などの軽微な修繕など)</li> <li>民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。</li> </ul>						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	申請に対する利用率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	利用者数	人	5	10	6	60.0	10
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	126 千円	150 千円	19.0	133 千円
	人件費	966 千円	612 千円	36.6	612 千円	
	退職手当引当金相当額	140 千円	90 千円	35.7	90 千円	
	事業コスト計	1,232 千円	852 千円	30.8	835 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,232 千円	852 千円	30.8	835 千円	
	当該事務従事職員数	0.14 人	0.09 人	35.7	0.09 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	在宅で生活する高齢者が自立した生活を継続できるよう、今後も継続する必要がある。
有効性	4	介護保険のホームヘルプサービスでは対応できないサービスを対象としており、有効に活用されている。
達成度	3	必要とされている方に利用されている。
効率性	4	介護保険内では対応できない福祉サービスであるため、コストを下げることは難しい。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	サービスを必要とされている方に周知できるよう、介護支援専門員や民生委員等に引続き普及啓発する。

事業	事務事業名	緊急通報装置設置事業 (在宅福祉対策費)				担当部署	部名	福祉保健部	
051							課名	長寿介護課	
							電話	82-1952	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市老人等日常生活用具給付等要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内に居住し、援護を必要とするおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者						
	意図 (どのような状態に)	住み慣れた地域で安心・安全に暮らしていただけるよう、24時間、365日の見守り等を行う						
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 装置(一式:主装置1台、携帯型送信機1台、人感センサー2台、火災報知機1台)を使用し、お元気コールやセンサー等、あるいは協力員の訪問による安否確認を行っている。						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用者数(年度末)	人	169	160	174	108.8	170	220	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	お元気コール実施回数	回	4032	3816	4152	108.8	4080
	延協力員数	人	474	447	489	109.4	510

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	9,431 千円	9,405 千円	0.3	9,433 千円
	人件費	966 千円	952 千円	1.4	1,088 千円	
	退職手当引当金相当額	140 千円	140 千円	0.0	160 千円	
	事業コスト計	10,537 千円	10,497 千円	0.4	10,681 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	10,537 千円	10,497 千円	0.4	10,681 千円	
	当該事務従事職員数	0.14 人	0.14 人	0.0	0.16 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	一人暮らし高齢者の安心安全な暮らしを支援する事業であるが、民間企業が個人契約で実施する事業と類似している。
有効性	4	市民の安心安全な暮らしに貢献している。
達成度	4	目標値を全て超えている。
効率性	4	協力員等の人的資源を活用した緊急通報システムが確立する中、機種変更等はありません。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後、24時間体制の見守りが一層必要であることから、事業を継続する。

事業	事務事業名	日常生活用具給付事業				担当部署	部名	福祉保健部	
052		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
							電話	82-1952	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市老人等日常生活用具給付等要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内に居住し、援護を必要とするおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者等						
	意図 (どのような状態に)	要援護者の生活上の便宜を図り、安心安全な在宅生活を支援する						
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 電磁調理器、火災警報器、自動消火器を給付する						

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用者数	人	2	11	6	54.5	9	11	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	申請件数	件	2	11	6	54.5	9

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	39 千円	65 千円	66.7	147 千円
	人件費	345 千円	340 千円	1.4	340 千円	
	退職手当引当金相当額	50 千円	50 千円	0.0	50 千円	
	事業コスト計	434 千円	455 千円	4.8	537 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	434 千円	455 千円	4.8	537 千円	
	当該事務従事職員数	0.05 人	0.05 人	0.0	0.05 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	要援護高齢者の安心安全な暮らしを支援する事業である。
有効性	4	市民の安心安全な暮らしに貢献している。
達成度	3	一部、目標値を下回り、民生委員等の周知普及を強化する必要がある。
効率性	4	コストの低減を図ることは困難である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	在宅生活の安全安心を担保する品目の給付であり、事業は、継続する必要がある。

事業	高齢者福祉電話運営事業				担当部署	部名	福祉保健部		
053	事務事業名 (在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課		
						電話	82-1952		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度	平成 17 年度			~	平成 年度				
根拠法令・要綱等	富山県射水市老人等日常生活用具給付等要綱								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	援護を必要とするおおむね65歳以上のひとり暮らし老人
	意図 (どのような状態に)	電話の利用により日常生活の便宜を図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	加入電話を貸与し、料金の一部を助成する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用者数	人	14	12	13	108.3	12	12	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	297 千円	286 千円	3.7	292 千円
	人件費	345 千円	612 千円	77.4	612 千円	
	退職手当引当金相当額	50 千円	90 千円	80.0	90 千円	
	事業コスト計	692 千円	988 千円	42.8	994 千円	
財源内訳	国県支出金	127 千円	118 千円	7.1	138 千円	
	その他	13 千円	18 千円	38.5	14 千円	
	一般財源	552 千円	852 千円	54.3	842 千円	
	当該事務従事職員数	0.05 人	0.09 人	80.0	0.09 人	

評価項目	点数	説明
必要性	2	合併以前S40年代に県の事業として始まり、S50年代に市町村に移管された事業である。携帯電話が普及していない合併以前からの利用者に対して、事業の継続が必要である。
有効性	3	現在の利用者には有効に活用されている。
達成度	4	現在の利用者には有効に活用されており、達成度は順調である。
効率性	4	適切に利用されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	市全体の回線数との関連で貸与できる回線数も限られる。現在の利用者を対象に事業を継続する。



事業 054	事務事業名	家具転倒防止器具設置事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 20 年度		～	平成 年度				
根拠法令・要綱等		射水市家具転倒防止器具設置事業助成金交付要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内に居住する70歳以上の高齢者世帯又は重度心身障害者等のいる世帯で、住民税非課税世帯の者
	意図 (どのような状態に)	家具転倒防止器具の取付により、地震災害時における人的・物的被害等を最小限に抑え、高齢者等の安心安全な暮らしを支援する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 新湊・射水地域住宅相談所登録の建築組合員が訪問し、寝室や居間等にあるタンスや食器棚等を確認し、最適な器具を取り付ける。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	申請者に対する設置率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	申請者数	人	111	100	3	3.0	20

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	833 千円	24 千円	97.1	160 千円
財源内訳	人件費	2,415 千円	816 千円	66.2	340 千円	
	退職手当引当金相当額	350 千円	120 千円	65.7	50 千円	
	事業コスト計	3,598 千円	960 千円	73.3	550 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	3,598 千円	960 千円	73.3	550 千円	
	当該事務従事職員数	0.35 人	0.12 人	65.7	0.05 人	

評価項目	点数	説明
必要性	2	地震災害時の家具の転倒による人的物的被害を最小限に抑えることは、安心安全の観点から重要である。本市は、県内で初めてこのサービスを実施した。
有効性	2	地震が少ない地域のため、地震災害に備えようとする市民意識が希薄なこともあり申請は少ない。
達成度	2	目標値の達成に向けて、継続的なPRが必要である。
効率性	4	コストは、転倒防止器具器具代と取付費用であり、低減の余地はない。(市内2箇所の住宅相談所に委託)

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	災害はいつ発生するか予測できないため、震災に備えたサービスのより一層のPRが必要である。

事業	外出支援サービス事業				担当部署	部名	福祉保健部		
055	事務事業名 (在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課		
						電話	82-1952		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度	平成 17 年度 ~ 平成 年度								
根拠法令・要綱等	射水市高齢者等外出支援サービス事業実施要綱、射水市移送サービス事業実施要綱								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	高齢者等外出支援サービス…在宅で日常的に車椅子を利用している要介護等高齢者 移送サービス…重度身体障害者や要介護1~5のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみ世帯等
	意図 (どのような状態に)	公共交通機関の利用が困難な高齢者等に対し、外出又は社会参加の支援を行う。
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 高齢者等外出支援サービス…移送タクシーの乗車料金の一部を助成 移送サービス…通院時等の送迎を行う

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	タクシーチケット利用枚数(高齢者等外出支援サービス)	枚	4658	4320	5220	120.8	4320	5440	100.0
	利用回数(移送サービス)	回	1562	1000	1293	129.3	1000	1300	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	利用者数(高齢者等外出支援サービス)	人	145	140	162	115.7	140
	延利用者数(移送サービス)	人	591	500	508	101.6	500

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	4,587 千円	4,910 千円	7.0	4,326 千円
財源内訳	人件費	1,311 千円	952 千円	27.4	1,088 千円	
	退職手当引当金相当額	190 千円	140 千円	26.3	160 千円	
	事業コスト計	6,088 千円	6,002 千円	1.4	5,574 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	6,088 千円	6,002 千円	1.4	5,574 千円	
当該事務従事職員数		0.19 人	0.14 人	26.3	0.16 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	要介護高齢者等の通院等、在宅生活の便宜を図る事業である。
有効性	4	目標値を大きく上回る成果である。
達成度	4	全ての目標値について、順調に推移している。
効率性	3	移送サービスについては、射水市社会福祉協議会に事業委託している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	交通手段のない高齢者の通院や社会参加に必要なサービスであり、継続して実施する。

事業 056	事務事業名	在宅要介護高齢者福祉金				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		～	平成 年度				
根拠法令・要綱等		富山県在宅要介護高齢者福祉金支給事業実施要綱 射水市在宅要介護高齢者福祉金支給要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	在宅の65歳以上で、要介護4又は5の方。ただし、老齢福祉年金の支給停止となる収入があり、かつ所得税課税となる方がいる世帯は除く。
	意図 (どのような状態に)	在宅要介護高齢者福祉金を支給し、介護に係る費用の負担軽減を図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	対象者に申請書を送付し、申請書を提出された方に在宅要介護高齢者福祉金(月額5,000円)を支給する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	提出率	%	60.2	60	57.3	95.5	60	60	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	申請書送付人数	人	871	870	950	109.2	900
	申請書提出人数	人	524	520	544	104.6	540

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	コスト	直接事業費	12,815 千円	13,495 千円	5.3	13,920 千円
財源内訳	人件費	1,656 千円	1,088 千円	34.3	1,088 千円	
	退職手当引当金相当額	240 千円	160 千円	33.3	160 千円	
	事業コスト計	14,711 千円	14,743 千円	0.2	15,168 千円	
	国県支出金	6,402 千円	6,747 千円	5.4	6,900 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	8,309 千円	7,996 千円	3.8	8,268 千円	
	当該事務従事職員数	0.24 人	0.16 人	33.3	0.16 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	在宅で介護されている要介護高齢者のうち、所得の少ない世帯に支給されるもので、必要とされている。
有効性	4	介護サービスの利用等に有効に使用されていると思われる。
達成度	4	おおむね達成されている。
効率性	4	県の補助事業であり、事業の見直しが予定されている。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	すべての評価項目で高点となっており、事業を継続する必要がある。

事業	事務事業名	敬老福祉年金				担当部署	部名	福祉保健部	
057		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
							電話	82-1952	
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度	平成 17 年度		～	平成 - 年度					
根拠法令・要綱等	射水市敬老福祉年金条例、射水市敬老福祉年金条例施行規則								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	満70歳以上で、市内に引続き1年以上居住している公的年金未受給者
	意図 (どのような状態に)	敬老の意を表し、あわせてその福祉を増進すること。
事業内容	手段 (どのような方法で)	年額3万6000円を9月及び3月に分割給付する。

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	申請に対する給付率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	給付者数	人	11	11	11	100.0	11

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	396 千円	396 千円	0.0	468 千円
	人件費	966 千円	612 千円	36.6	612 千円	
	退職手当引当金相当額	140 千円	90 千円	35.7	90 千円	
	事業コスト計	1,502 千円	1,098 千円	26.9	1,170 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,502 千円	1,098 千円	26.9	1,170 千円	
	当該事務従事職員数	0.14 人	0.09 人	35.7	0.09 人	

評価項目	点数	説明
必要性	2	公的年金をかけたくてもかけることができなかった特定の高齢者を救済する事業である。
有効性	4	現在の支給対象者にとっては有効であるが、その対象者の精査が必要である。
達成度	4	対象者には給付されている。
効率性	4	年額3万6,000円、月額3,000円の支給であり給付金額を引き下げることが事業の目的から考えて適当ではない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	継続給付がほとんどであるが、公的年金未受給者を救う制度として継続する必要がある。

事業	在宅福祉介護手当				担当部署	部名	福祉保健部		
058	事務事業名 (在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課		
						電話	82-1952		
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度	平成 17 年度		～	平成 - 年度					
根拠法令・要綱等	射水市在宅福祉介護手当支給条例、射水市在宅福祉介護手当支給条例施行規則								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	常時介護を要する要介護4、5に認定された高齢者と同居し、在宅で介護している方
	意図 (どのような状態に)	介護者の福祉の増進を図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	月額2,500円を、9月及び3月にそれぞれの月までの分を支給する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	提出率	%	77	80	78	97.5	80	80	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	申請書送付人数	人	919	920	943	102.5	940
	申請書提出人数	人	704	740	740	100.0	760

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	8,343 千円	8,778 千円	5.2	8,100 千円
	人件費	1,656 千円	952 千円	42.5	952 千円	
	退職手当引当金相当額	240 千円	140 千円	41.7	140 千円	
	事業コスト計	10,239 千円	9,870 千円	3.6	9,192 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	10,239 千円	9,870 千円	3.6	9,192 千円	
	当該事務従事職員数	0.24 人	0.14 人	41.7	0.14 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	介護している家族の経済的な負担軽減を図るために、今後も継続する必要がある。
有効性	4	対象となる介護している家族に支給されている。
達成度	4	対象となる介護している家族に支給されている。
効率性	4	月額2500円の支給であり、給付金額を引き下げることが事業の目的から考えて適当ではない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	在宅で介護をしている家族が安心して暮らし続けられるよう、支援する事業として今後も継続する。

事業 059	事務事業名	高齢者住宅改善支援事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		富山県高齢者が住みよい住宅改善支援事業実施要綱、射水市高齢者住宅改善費補助金交付要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	65歳以上の高齢者又は65歳以上の高齢者と同居する者で世帯全員が所得税非課税である者
	意図 (どのような状態に)	高齢者が住みなれた家庭でできるだけ長く生活できるよう、在宅での自立支援及び介護者の介護負担の軽減を図る
事業内容	手段 (どのような方法で)	介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 住宅環境の改善に要した経費のうち、便所や浴室、玄関等を高齢者の自立支援等に要した工事費に対し、要介護者等にあつては上限90万円の2/3、自立者にあつては上限45万円の2/3又は1/3を乗じて得た額を補助する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用者に対する在宅率(年度末)	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	申請者数	人	5	7	3	42.9	6

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	1,421 千円	356 千円	74.9	2,150 千円
財源内訳	人件費	345 千円	476 千円	38.0	476 千円	
	退職手当引当金相当額	50 千円	70 千円	40.0	70 千円	
	事業コスト計	1,816 千円	902 千円	50.3	2,696 千円	
	国県支出金	710 千円	178 千円	74.9	1,075 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,106 千円	724 千円	34.5	1,621 千円	
当該事務従事職員数		0.05 人	0.07 人	40.0	0.07 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	介護保険法に基づく住宅改修の上乗せ、又は非該当認定者(自立者)への救済的な事業である。
有効性	4	要介護高齢者等の安心安全な在宅生活を支援する事業であり、上位施策に貢献している。
達成度	2	申請者数の目標値を下回っており、より一層の周知普及が必要である。
効率性	4	補助基準によりコスト低減等の余地は無い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	要介護高齢者等の在宅生活の支援又は家族介護者の負担軽減を図る事業として、今後、介護支援専門員等を通じより一層の周知普及が必要である。

事業 060	事務事業名	高齡福祉推進員設置事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		～	平成 年度				
根拠法令・要綱等		富山県高齡福祉推進員設置事業実施要綱、射水市高齡福祉推進員設置事業実施要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3 頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	市内に居住するおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者等
	意図 (どのような状態に)	一人暮らし高齢者等、援護を必要とする者が地域で安心して暮らせるよう、声かけや見守り等を行い、地域ぐるみの支援体制を構築する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 一人暮らし老人福祉票を提出の際、高齡福祉推進員を選出、市から委嘱状を交付する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	一人暮らし老人登録者に対する高齡福祉推進員設置率(年度末)	%	70.8	87.5	69.2	79.1	67.1	100	100.0
	高齡福祉推進員数(年度末)	人	580	700	624	89.1	604	700	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	一人暮らし老人登録者数	人	819	800	902	112.8	900

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	808 千円	430 千円	46.8	1,208 千円
財源内訳	人件費	1,311 千円	952 千円	27.4	952 千円	
	退職手当引当金相当額	190 千円	140 千円	26.3	140 千円	
	事業コスト計	2,309 千円	1,522 千円	34.1	2,300 千円	
	国県支出金	404 千円	215 千円	46.8	604 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,905 千円	1,307 千円	31.4	1,696 千円	
当該事務従事職員数		0.19 人	0.14 人	26.3	0.14 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	一人暮らし高齢者等の安心安全な暮らしを支援する事業である。
有効性	4	上位施策に貢献している。
達成度	4	目標値を上回っている。
効率性	4	補助基準があり、コスト低減等の余地は無い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	一人暮らし高齢者等の安心安全な暮らしを支援し、これを基盤とした地域ぐるみの支援体制を構築すべく、より一層の周知普及が必要である。

事業 061	事務事業名	除雪支援事業				担当部署	部名	福祉保健部	
		(在宅福祉対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		富山県要援護対策メニュー事業実施要綱 射水市ひとり暮らし老人等除雪助成金交付要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	自力又は親族・近隣の知人の協力による雪下ろしが困難な、おおむね65歳以上のひとり暮らし老人世帯等。ただし、所得税の課税世帯及び生活保護を受けている世帯は除く。
	意図 (どのような状態に)	屋根の除雪に費やした経費の一部を助成する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	広報、民生委員などを通じて事業の周知を図る。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	助成件数	件	0	20	2	10.0	5	5	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	2	2	2	100.0	2
	申請件数	件	0	20	3	15.0	5

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	0 千円	16 千円	皆増	55 千円
財源内訳		人件費	345 千円	340 千円	1.4	340 千円
		退職手当引当金相当額	50 千円	50 千円	0.0	50 千円
		事業コスト計	395 千円	406 千円	2.8	445 千円
		国県支出金	0 千円	8 千円	皆増	27 千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	395 千円	398 千円	0.8	418 千円
	当該事務従事職員数	0.05 人	0.05 人	0.0	0.05 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	自力では除雪できない低所得の高齢者等にとって、安全のために必要な事業である。
有効性	4	現在の運用基準では屋根雪下ろしのみを対象としており、県補助基準からは狭義な扱いであるため、その運用基準を見直し、より有用な制度設計を検討する必要がある。
達成度	4	降雪量により、助成件数(申請件数)が左右されやすい。
効率性	4	補助事業なので、削減対象とはならない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	すべての評価項目において高点となっており、事業を継続する必要がある。



事業 062	事務事業名	生活管理指導員派遣事業 (在宅福祉対策費)				担当部署	部名	福祉保健部	
							課名	長寿介護課	
							電話	82-1952	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市ホームヘルプサービス事業実施要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	介護保険法による認定で非該当とされた方
	意図 (どのような状態に)	対象者の自立と生活の質の確保及びその家族の身体的かつ精神的な負担の軽減を図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	民生委員や介護支援専門員等を通じて事業の周知普及を図る。 ホームヘルプサービスを利用する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	申請に対する利用率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	PR回数	回	4	4	4	100.0	4
	申請数	件	1	4	2	50.0	2
	利用数	件	1	4	2	50.0	2

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	191 千円	41 千円	78.5	327 千円
	人件費	483 千円	340 千円	29.6	340 千円	
	退職手当引当金相当額	70 千円	50 千円	28.6	50 千円	
	事業コスト計	744 千円	431 千円	42.1	717 千円	
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円		0 千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	744 千円	431 千円	42.1	717 千円	
	当該事務従事職員数	0.07 人	0.05 人	28.6	0.05 人	

評価項目	点数	説明
必要性	4	介護保険で非該当とされた方でも、何らかの援助を必要としている方には欠くことのできないサービスとなっている。
有効性	4	サービスの利用により、高齢者等の生活が保たれている。
達成度	4	利用対象となる申請者に対しては、決定し、利用されている。
効率性	4	事業にかかる費用(単価)は介護報酬に基づいて算出しているため、削減対象とならない。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	対象となる方がサービスを利用できるよう、普及啓発する。

事業 063	事務事業名	節目祝 (高齢者いきがい対策費)				担当部署	部名	福祉保健部	
						課名	長寿介護課	電話	82-1952
総合計画	施策の大綱	第1部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第1章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第3節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		～	平成 - 年度				
根拠法令・要綱等		富山県敬老祝金支給要綱、射水市高齢者祝品贈呈要綱							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	・満100歳に達する方 ・年度中に満88歳に達し、敬老の日現在存命の方
	意図 (どのような状態に)	長寿のお祝いをすることで敬老の意を表し、あわせて高齢者福祉の増進に寄与する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	満100歳 ・百歳訪問(対象者宅又は施設に市長等が訪問し祝状、祝品を贈呈する) ・市長の祝状及び祝品贈呈、県知事の祝状及び県敬老祝金(3万円) 満88歳 ・市長メッセージ ・県知事祝状、県敬老祝金(1万円)

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	百歳訪問をした率	%	100	100	100	100.0	100	100	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	敬老祝金対象者(満100歳)	人	16	10	10	100.0	19
	米寿祝対象者	人	392	362	362	100.0	406

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	741 千円	523 千円	29.4	1,125 千円
	人件費	1,863 千円	1,360 千円	27.0	1,496 千円	
	退職手当引当金相当額	270 千円	200 千円	25.9	220 千円	
	事業コスト計	2,874 千円	2,083 千円	27.5	2,841 千円	
財源内訳	国県支出金	98 千円	91 千円	7.1	千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	2,776 千円	1,992 千円	28.2	2,841 千円	
	当該事務従事職員数	0.27 人	0.20 人	25.9	0.22 人	

評価項目	点数	説明
必要性	2	米寿祝は超高齢社会のなか見直しをしたが、100歳祝は長寿を祝う節目として継続する必要がある。
有効性	3	県は、平成22年度より満88歳に対する敬老祝金は廃止したが、希望者には祝状を送付する。市の米寿祝(市長メッセージ)は、今年度の県の実施状況を把握し来年度以降検討する。
達成度	4	対象者には、事業を実施されている。
効率性	3	高齢化により、対象者は年々増加するものと予想され、コスト削減を検討する必要がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	百歳訪問は、敬老の意を表し長寿を祝う事業として、国・県の祝状の伝達を兼ね継続していく。

事業 064	事務事業名	創作活動				担当部署	部名	福祉保健部	
		(高齢者いきがい対策費)					課名	長寿介護課	
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	60歳以上で射水市在住の方
	意図 (どのような状態に)	高齢者に活動の場を提供し、仲間づくりを通していきがいと創造性を養う。
事業内容	手段 (どのような方法で)	小杉ふれあいセンター陶芸室において、高齢者いきがい講座(陶芸教室)を開催する。

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	参加者数(延)	人	80	90	104	115.6	105	105	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	実施回数	回	51	51	51	100.0	51

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	696 千円	653 千円	6.2	722 千円
財源内訳		人件費	1,035 千円	680 千円	34.3	204 千円
		退職手当引当金相当額	150 千円	100 千円	33.3	30 千円
		事業コスト計	1,881 千円	1,433 千円	23.8	956 千円
		国県支出金	千円	千円		千円
		その他	千円	千円		千円
		一般財源	1,881 千円	1,433 千円	23.8	956 千円
	当該事務従事職員数	1.00 人	2.00 人	100.0	1.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	地方窯の雄として名高い「小杉焼」の伝統文化の興隆、高齢者のいきがいと介護予防にも役立っている。
有効性	3	年に1度、市内において陶芸教室作品展を開催している。また、陶芸窯で焼いた作品は市展等にも出品し入賞作品も多い。
達成度	4	毎年、17回コースを3期実施しており、達成度は100%である。
効率性	3	陶芸教室受講生が会費を出し合い、材料費や一部の講師の謝礼に充てている。市が場所及び設備を提供し、運営は受講生に委託することで効率的な管理運営ができる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	平成21年度に電気陶芸窯を更新した。陶芸教室を高齢者いきがい講座と位置付け、運営主体を見直し継続する。

事業	教養教室				担当部署	部名	福祉保健部		
065	事務事業名 (高齢者いきがい対策費)					課名	長寿介護課		
						電話	82-1952		
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予算科目	会計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~	平成 年度				
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3 頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	60歳以上で射水市在住の方
	意図 (どのような状態に)	高齢者に活動の場を与え、いきがいと健康づくりを図る。
事業内容	手段 (どのような方法で)	小杉社会福祉会館において、高齢者いきがい講座(民謡踊り・ダンス教室)を開催する。

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	参加者数(民謡踊り)	人	61	30	61	203.3	60	60	100.0
	参加者数(ダンス)	人	63	30	63	210.0	60	60	100.0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	実施回数(民謡踊り)	回	12	12	12	100.0	12
	実施回数(ダンス)	回	10	10	10	100.0	10

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	112 千円	113 千円	0.9	286 千円
	人件費	690 千円	680 千円	1.4	136 千円	
	退職手当引当金相当額	100 千円	100 千円	0.0	20 千円	
	事業コスト計	902 千円	893 千円	1.0	442 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	902 千円	893 千円	1.0	442 千円	
当該事務従事職員数		1.00 人	2.00 人	100.0	1.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	2	受講生がサークル化しており、運営方法を含め市が実施することについて検討する必要がある。
有効性	4	高齢者のいきがいと健康づくりに有効である。
達成度	4	民謡踊り教室、ダンス教室はそれぞれ年12回、10回実施しており、達成度は100%である。
効率性	2	参加料を徴収する等により、事業コストを下げることができる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
C	基本的には継続とするが、運営方法の変更及び有料化を検討する。

事業 066	事務事業名	ふれあい健康農園運営事業				担当 部署	部名	福祉保健部	
		(高齢者いきがい対策費)					課名	長寿介護課	
総合 計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	民生費
	政策名(章)	第 1 章 元気な声が響くまちづくり						項	社会福祉費
	施策名(節)	第 3 節 いきいき長寿社会の推進						目	老人福祉費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		射水市高齢者ふれあい健康農園設置要領							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	3	頁	個別計画			

事業 目的	対象 (誰を・何を)	射水市に住所を有する自ら作業できる60歳以上で、本人及びその世帯の者が農作物を栽培する土地を所有していない者							
	意図 (どのような状態に)	高齢者に農作物等を栽培する場所を提供し、自然と親しむ機会を与えることで高齢者が健全で生き生きとした生活を送ることができるようにする。							
事業 内容	手段 (どのような方法で)	高齢者に無償で農作物を栽培できる場所を提供する。							

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	利用者数	人	182	182	182	100.0	182	182	100.0

活動 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	区画数	区画	182	182	182	100.0	182

事業 費・ 人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業 コスト	直接事業費	760 千円	406 千円	46.6	246 千円
財源 内訳	人件費	345 千円	1,360 千円	294.2	204 千円	
	退職手当引当金相当額	50 千円	200 千円	300.0	30 千円	
	事業コスト計	1,155 千円	1,966 千円	70.2	480 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,155 千円	1,966 千円	70.2	480 千円	
当該事務従事職員数		1.00 人	2.00 人	100.0	1.00 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	市の遊休地を農園として高齢者に提供することにより、高齢者の健全で生き生きとした生活を確保することができる。
有効性	4	達成率は100%であり、有効活用されている。
達成度	4	達成率は100%であり、有効活用されている。
効率性	3	農園でない箇所の所管替えにより、環境整備に係るコストを下げる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	高齢者に農園を提供することは、健全で明るい老後に資すると同時に、市の遊休地の環境整備にも役立っていることから、今後も継続する。